

第三段

1 ・近代化

- ・生産力が高まり、交通が発展して社会関係が複雑多様になった。
- ・あかの他人同士が関係を結ぶ必要が増大した。

2 ・組織や制度

- ・各分野に分業する。
活動に応じて分化する。

3 ・人間関係

- ・状況によって違った役割を演じなければならない

役割関係	まるごとの関係
<ul style="list-style-type: none">・何かをする目的で取り結ぶ関係・職能集団・会社、政党、組合、教育団体。	<ul style="list-style-type: none">・素性に基づく人間関係・家柄、同族。

4 ・リーダーの偉さ

<ul style="list-style-type: none">・業績・仕事の側面の上下関係	<ul style="list-style-type: none">・上役であること・常に上下関係
---	--

- ・仕事以外まで上下関係がつきまとう。
- ・職能関係が「身分」的になっている。

5 ・日本社会の問題点

- ・「する」ことへの移行は、すべての領域に同じテンポで進行するのではない。
- ・自動的に人々の物の考え方や価値意識を変えるのではない。
- ・同じ近代社会に様々なバリエーションが生まれる。